

主 催
公益財団法人 日本ビフィズス菌センター

第22回 腸内細菌学会

発表演題募集・プログラム

メインテーマ

宿主-腸内細菌相互作用

—双方向制御の分子メカニズムに迫る—

開催日 平成30年**5月31日**(木)・**6月1日**(金)

会 場 **タワーホール船堀**
東京都江戸川区船堀 4-1-1

大会長 **大野 博司** (理化学研究所)

事前参加費 会員 6,000 円 一般 8,000 円 学生 1,500 円
当日参加費 会員 8,000 円 一般 10,000 円 学生 2,000 円
(予稿集：会員・学生無料配布、当日別売 2,000 円)

腸内細菌学会ホームページ <http://bifidus-fund.jp/>

一般演題 A (ポスター発表)・B 申込要領

平成30年2月2日(金)まで

本年度は、発表+ポスター発表の **一般演題 A** と発表のみの **一般演題 B** の2種類の募集となります。

常在・病態菌叢およびその生態・分類・意義・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください(メインテーマと関連がなくても結構です)。

本大会の一般演題は、これまでの大会から一新し、大会1日目午前中に【一般演題A】(7分程度の口頭発表[質疑応答含む])と、【一般演題B】(12~15分程度の口頭発表[質疑応答含む])を2つの会場で平行して行う予定です。一般演題Aは口頭発表に加え同日午後のポスター発表もあり、若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎致します。なお、一般講演Aの中から本センター選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」(表彰状および副賞)が贈られます。

① 申込方法 ・ 抄録用原稿をE-Mailにてお送りください。メール本文には「一般講演Aでの発表希望」なのか「一般講演Bでの発表希望」なのかを必ず明記してください。

② 作成要領

❗ 要旨および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け(自社製品は除く)、成分名等にて記載ください。

【一般演題A】 ・ 平成30年5月31日現在で40歳未満の方を対象とします。

- ・ 抄録用原稿はMS-Wordで作成してください。
- ・ 用紙の大きさはA4 1枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者(○をつける)・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・ 本文の長さは和文1,000文字または英文550ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・ 抄録用原稿は、第22回腸内細菌学会のホームページから抄録用フォーマット(Wordファイル)をダウンロードして作成してください。
- ・ 締切：平成30年2月2日(金)必着にて事務局までお送りください。

タイトル 英文Title
○腸内太郎 ¹ 、腸内花子 ² <small>¹腸内大学研究所、²株式会社 腸内細菌</small>
【目的】…
【方法】…
【結果】…
【考察】…

【ポスター】 ・ サイズは横90cm×縦180cm以下で作成してください。

- ・ 学会当日(5月31日)の9:50までに1階ポスター会場に掲示してください。(詳しい作成要項は発表者に別途通知いたします)。

- 【一般演題 B】 ・抄録用原稿は MS-Word で作成してください。
- ・用紙の大きさは A4 1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者 (○をつける)・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
 - ・本文の長さは和文 1,000 文字、または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
 - ・抄録用原稿は、第 22 回腸内細菌学会のホームページから抄録用フォーマット (Word ファイル) をダウンロードして作成してください。
 - ・締切：平成 30 年 2 月 2 日 (金) 必着 にて下記事務局までお送りください。

③ 発表時間

【一般演題 A】 5 月 31 日 (木) 小ホール (予定)

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表 (7 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]) と同日の午後にその講演のポスター発表 (全体で 30 分ほど [質疑応答あり]) となります。
※同日に行われる情報交換会にて、最優秀発表賞の表彰を行います。

【一般演題 B】 5 月 31 日 (木) 大ホール (予定)

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表 (12～15 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]) となります。

※発表時間は変更になる可能性がございますのでご了承ください。

④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人 日本ビフィズス菌センター事務局
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12
TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068
E-Mail アドレス jbf@ipecc-pub.co.jp
ホームページ <http://bifidus-fund.jp/>

⑤ その他

発表方法 (ポスターの様式を含める) や時間などは採択後に発表者にご連絡します。
なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。

投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または日本ビフィズス菌センター・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同英文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。



学会スケジュール (予定)

Thursday, May 31, Meeting Day 1

第1日 5月31日(木)

9:55～10:00 開会の挨拶

大会長 大野 博司 (理化学研究所)

10:00～12:00 一般演題 A ショートプレゼンテーション (小ホール)

10:00～12:00 一般演題 B 発表 (大ホール)

(12:00～13:00 昼食休憩)

13:00～13:33 一般演題 B 発表 (大ホール)

13:40～14:30 海外特別講演

Mahesh Desai (Principal Investigator and Group Leader,
Luxembourg Institute of Health)

“Dietary fiber, the gut microbiota and the colonic mucus barrier:
implications for health and disease”

14:45～16:50 国際シンポジウム 1

『New trends in microbiome research —微生物叢研究の新展開—』

※ AMED-CREST 微生物叢 共催

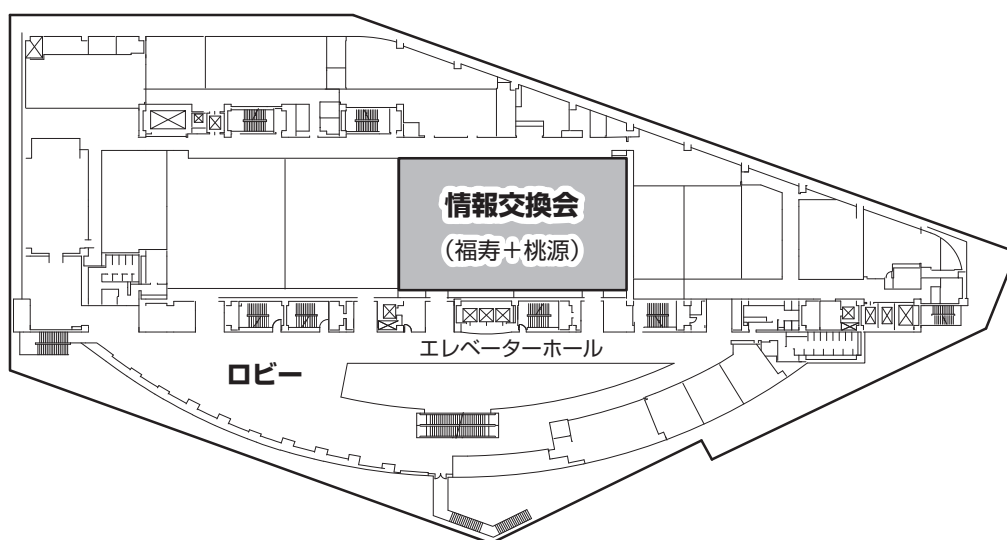
- ① **Yukinori Okada** (Graduate School of Medicine, Osaka University)
“Statistical genetics for metagenome analysis”
- ② **Kiyoshi Takeda** (Graduate School of Medicine, Osaka University)
“Interplay of microbiota and the host for the maintenance of intestinal homeostasis”
- ③ **Reiko Shinkura** (The Institute of Molecular and Cellular Biosciences (IMCB),
The University of Tokyo)
“Intestinal IgA as a modulator of gut microbiota”
- ④ **Ikuo Kimura** (Graduate School of Agriculture, Tokyo University of
Agriculture and Technology)
“Host energy regulation by gut microbial metabolites”
- ⑤ **Yumi Matsuoka** (Graduate School of Medicine, Chiba University)
“Understanding the link between *Staphylococcus aureus*,
microbiota and atopic dermatitis”

17:00～17:50 **一般演題 A ポスター発表** (会場：1階 展示ホール)

午前の部に行ったショートプレゼンテーションのポスターを用いた
質疑応答タイム

18:00～19:30 **情報交換会** (会場：2階 福寿+桃源)

皆様奮ってご参加ください。



市民公開講座『腸内フローラと健康』(小ホール)

13:30～15:30 (会場 13:00)

辨野 義己 (理化学研究所 イノベーション推進センター)

『“長寿菌”がいのちを守る！～大切な腸内環境コントロール～』

中島 淳 (横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学教室)

『病気と腸の関係』

9:30～12:00 国際シンポジウム 2

『Forefront of M cell biology—M細胞生物学の最前線—』

- ① **Ifor Williams** (Pathology & Laboratory Medicine, Emory University, USA)
“Intestinal M cells and sampling of the gut microbiota”
- ② **Neil Mabbott** (The Roslin Institute & Royal (Dick) School of Veterinary Sciences, University of Edinburgh)
“M cells: Important gate keepers of prion infections in the intestine”
- ③ **Shinichiro Sawa** (Institute for Genetic Medicine, Hokkaido University)
“Intestinal homeostasis maintained by subepithelial mesenchymal cell”
- ④ **Shintaro Sato** (Research Institute for Microbial Disease, Osaka University)
“Identification and elucidation of novel M-cell specific molecules for its function and differentiation”
- ⑤ **Takashi Kanaya** (RIKEN Center for Integrative Medical Sciences)
“The crucial role of NF- κ B in M cell differentiation”

(12:00～13:00 昼食休憩)

13:00～13:10 日本ビフィズス菌センター研究奨励賞授賞式

13:10～13:50 受賞講演

14:05～16:15 シンポジウム 『宇宙と微生物』

- ① **基調講演：太田 敏子**（JAXA プロジェクトアドバイザー／筑波大学名誉教授）
『宇宙の生活と宇宙医学』
- ② **高橋 智**（筑波大学医学医療系・生命科学動物資源センター）
『マウスを用いた宇宙環境応答の網羅的解析』
- ③ **那須 正夫**（大阪大谷大学薬学部／大阪大学名誉教授）
『国際宇宙ステーション「きぼう」船内の微生物モニタリングと群集構造
—宇宙居住と地上応用—』
- ④ **榎村 浩一**（帝京大学医療共通教育研究センター）
『宇宙環境における微生物とヒト健康リスクの管理』
- ⑤ **加藤 完**（理化学研究所統合生命医科学研究センター）
『宇宙環境における健康管理に向けた免疫・腸内環境の統合評価』

16:15～16:25 閉会の辞

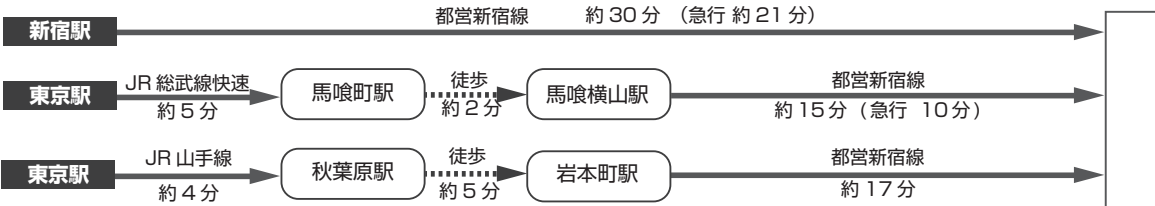
交通アクセス・マップ

タワーホール船堀

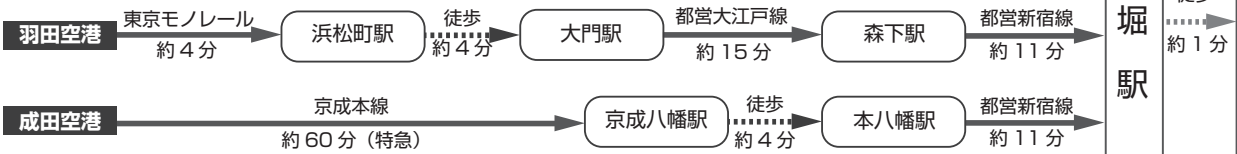
タワーホール船堀までのアクセス (東京都江戸川区船堀 4-1-1)

都営新宿線【船堀駅】より徒歩 約 1 分

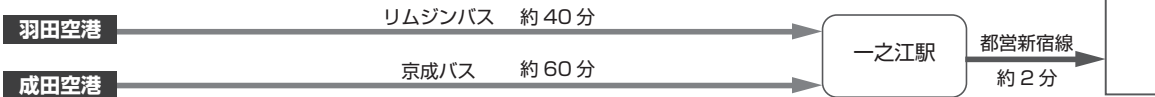
電車をご利用の場合



空港から電車をご利用の場合



空港からバスをご利用の場合

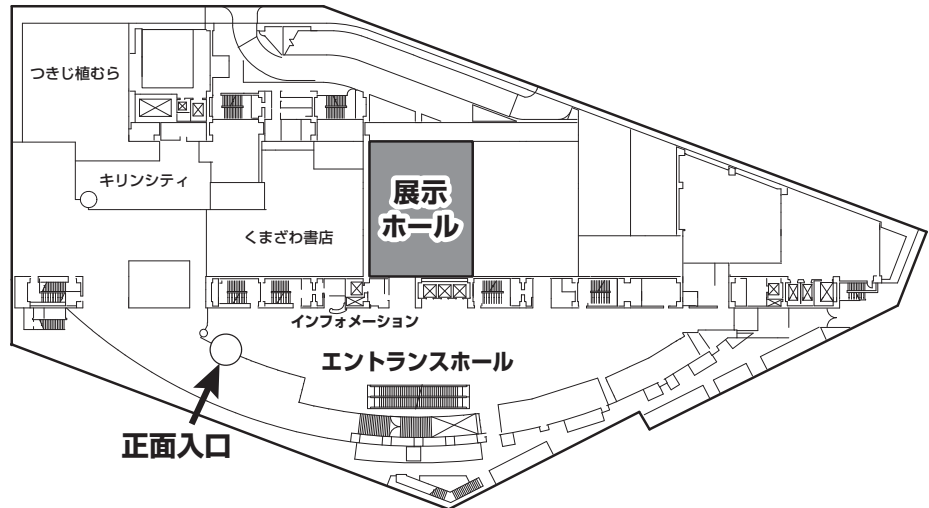


タワーホール船堀

会場案内図

1 F

- ・ポスター会場
- ・企業展示
- ・製品提供
- ・インターネットコーナー



5 F

- ・講演会場
- ・シンポジウム
- ・市民公開講座

